



自らの目標に向かって主体的に学び、考え、判断し、挑戦する生徒



~ 「伝える力」の育成を図る対話カトレーニング ~



森中学校では、主体的・対話的で深い学びを実現するために「聴く」「比べる」「伝える」を大切にした授業づくりを進めています。中でも「伝える」ことは学習の要となる活動であり、特に重視して取り組んできましたが、授業での表れを見ても、また昨年度末の生徒の自己評価からも満足できる状況ではありませんでした。そこで、本年度は「伝える力を身に付ける」を学習部の重点項目に位置づけ、以下のような「対話カトレーニング」を実施しています。

☆毎週木曜日の朝読書の時間を利用して実施

☆2人1組になり以下の流れで与えられたテーマについて意見や考えを伝え合う

対話カトレーニングの流れ

- 1 話題、ペアの確認
- 2 隊形を整える。
- 3 ペアでどちらが先に「話し手」役をするか決める。
- 4 先生の合図で、話し手役の人が、話題について1分間話す。
- 5 聞き手は、先生の合図で1分間フィードバックする。
- 6 話し手役と聞き手役を入れ替えて行う。
- 7 振り返りを記入。
- 8 先生から講評を行い終了。



【これまでに取り組んだテーマ】

「好きな動物について」「陽光祭の思い出」「理想の朝食の献立」「夏にしたいこと」
「今までにあった嬉しかった、楽しかった出来事」「自分の好きなもの・場所」 など

成果

1学期末の学校評価アンケートの結果、「授業の発表や話し合いで自分の考えを伝えている」の項目で最上位の「そう思う」と回答した生徒の割合が、前年度と比べて2年生で19%、3年生で13%、それぞれアップしました。(1年生は比較するデータがないため除く)対話カトレーニングによって、伝える意欲やスキルが向上して授業の中でも積極的に意見や考えを表現できる生徒が増えています。

One Song ～結ぶ絆、最高の歌声～

来週に迫る10月31日(木)の『ときわ祭』に向け、どの学級でも練習に拍車がかかってきました。10月9日(水)に体育館で行われた中間発表会では、多くの生徒が緊張の表情を浮かべていましたが、今歌える精一杯の合唱を披露しました。

中間発表会終了後は、各学級で振り返りを熱心に行い、よりよい合唱にするための道筋を生徒が主体となって考え、どのクラスも本番に向け、再スタートをきっています。本番まであと10日あまり。どの学級も、ここからのラストスパート期間で美しい合唱に仕上がっていく予感があります。本番はどうぞ、会場に足を運んでいただき、生徒の精一杯歌う姿を、たくさんの方に御覧いただきたいと思います。



★バトンが渡されます★

3年生から2年生へ

1学期の終わりに実施した生徒会選挙を経て、先日新生徒会の任命式がありました。新生徒会長に神馬魁玄さんが任命されました。そして、新生徒会長の神馬さんから、各専門委員長への委嘱が行われました。

後期のスタートは、11月になります。10月24日(木)に行われる生徒総会を節目とし、11月からは、2年生が3年生から渡されたバントを引き継ぎます。新生徒会を中心に2年生が学校の要となり、『自律』を目指す森中を立派に牽引していってくれることを期待しています。



★部活動がんばっています★

- 磐周新人ソフトテニス大会
男子団体戦 第4位(西部大会出場)
男子個人戦 森重・小澤ペア 第7位(西部大会出場)
男子個人戦 神馬・大沼ペア 第9位(西部大会出場)
女子個人戦 戸田・渡邊ペア ベスト16(西部大会出場)
- 磐周新人バレーボール大会 女子団体戦 第4位

